

# 「ステップアップガイド」構成一覧

章	番号	内容
はじめに		表紙
		目次
	はじめに	「教育ファーム」ステップアップガイド 内容と使い方案内
	はじめに	「教育ファーム」ステップアップガイド 内容と使い方案内
いきいき教育ファーム 2年目はここをプラスワン	1-1-a	心に深く残る！ 品目や体験内容のプラス
	1-1-b	子どもたちと家庭に、しっかりと刻みたい
	1-2-a	地域みんなの喜びに！ 参加者、スタッフのプラス
	1-2-b	学び、教えることで、大きく育て
	1-3-a	もっと長く 冬までつづける活動の楽しみ
	1-3-b	大地に海に 冬の恵みを生かせば、体験が豊かにつながる
	1-4-a	交流の時間を増やそう
	1-4-b	「振り返り」で、期待がさらにふくらみます
スタートから魅力をも！ 園場デザイン・体験目標	2-1-a	通いたくなる作付けや収穫の工夫
	2-1-b	幼い子どもに、お母さんにうれしい畑とは
	2-2-a	田畑の周りをドラマティック体験いっぱい
	2-2-b	どろんこ遊びや動物たち…目を凝らせば、ドラマティック体験の素材は無数にある！
	2-3-a	教育ファームを子どもの「生活の場」に
	2-3-b	放課後、宿泊体験、展開さまざま「教育ファーム」
	2-4-a	目標を掲げ、意気込みを伝えてⅠ ゴールに向けてスタートしよう
	2-4-b	「目標」は「目標」にとどまらない！
	2-5-a	目標を掲げ、意気込みを伝えてⅡ 売ろう、アピールしよう
	2-5-b	つくって売ろう！ そこから生まれる学び、伝わる気持ち
関心が高まる、モチベーションが持続する	3-1-a	園場・体験教材・作業 こう惹きつける、心に残す
	3-1-b	やる気がわいてくる！ 手づくりグッズのすすめ
	3-2-a	教育ファームと学校・家庭をつなぐ同じ作物 ミニ栽培
	3-2-b	育っていく作物に熱中！ イネも野菜もミニ栽培
	3-3-a	作物の育ち、自然の力を見つめる、比較実験いろいろ
	3-3-b	びっくり作物の成長パワー 子どもたちの出会い
	3-4-a	みんなで働く楽しみ、作業の意味を伝えよう
	3-4-b	作業しながら野菜がわかる、言葉も覚える
	3-5-a	活動日には、作業体験と食体験をセットで
	3-5-b	広げよう 楽しい食体験 おすすめ 夏の収穫祭
	3-6-a	畑を楽しみの場所に～遊びや農のアート
	3-6-b	教育ファーム・アート集
	3-7-a	体験フィールドの生きものたちとのつきあい
	3-7-b	生きもの観察を深めるいろいろなグッズ、地図、水族館
3-8-a	夏休みの教育ファーム こんな取組み	
3-8-b	「じっくり」取り組めるから「しっかり」身につく モノづくり、サバイバルカ…	
3-9-a	インターネットで情報提供・交流	
3-9-b	教育ファーム・ブログ集	

章	番号	内容
子どもが変わる、教室に活気 食・生活・学習のスキルアップ	4-1-a	教科学習と「総合的な学習」がさらに充実 教育ファームカレンダー
	4-1-b	教育ファームカレンダー作成のすすめ
	4-2-a	教育ファームからこんな授業展開はいかがでしょう
	4-2-b	国語と社会と総合的な学習を教育ファームで合科
	4-3-a	農・自然と出会う子どもの感性を大切に 学びに生かそう
	4-3-b	見てさわって考える場が教育ファームにはいっぱい！
	4-4-a	国語・図工・音楽…表現の深まりを見つめよう
	4-4-b	絵に音楽に 子どもたちの豊かな表現
	4-5-a	育てる一とる一食べるから、「環境」の深い理解
	4-5-b	体験する生産・生活と、環境との深いかかわり
	4-6-a	育てた野菜やお米で、給食をグンと充実
	4-6-b	学校給食で家庭や地域をつなげよう
	4-7-a	収穫物・加工品・料理を地域に届ける
	4-7-b	教育ファームの収穫物で結び合う学び、つながる地域
地域が元気に 指導者の願いを子どもとともに	4-8-a	教育ファームを舞台に「総合的な学習」
	4-8-b	教育ファームで「人との出会い」から交流へ
	4-9-a	どうして？ どっちを選ぶ？…疑問、議論からストーリー
	4-9-b	一緒に農業体験をした生きものをどうするか その選択
	4-10-a	やってみよう 教育ファーム姉妹校の交流
	4-10-b	教えて お兄さんお姉さん！ 農業の魅力、漁業の楽しさ
	5-1-a	教える人も元気になる 指導者ネットワーク
	5-1-b	教育ファームに取り組むさまざまな人びと
	5-2-a	子どもたちとともに地域の「食・農」の魅力を再発見
	5-2-b	昔の暮らしの体験と復活で、ふるさとの歴史や文化が伝わる
教育ファームの成果を引き継ぐ	5-3-a	地産地消ニュースタイルを子どもたちと
	5-3-b	自然の恵みを丸ごと楽しむライフスタイルを
	5-4-a	農地、施設に子どもの声を
	5-4-b	元気いっぱい子どもたちの姿を
	5-5-a	集落営農・産地づくり、教育ファームで一步前進
5-5-b	ふるさと輝け！ 子どもたちとここに注目	
教育ファームの成果を引き継ぐ	6-1-a	子どもたちによる宝の受継ぎ
	6-1-b	「つながる」をキーワードにした取組み、あれこれ
	6-2-a	教育ファームミュージアムをつくろう
	6-2-b	家庭に、学校に、指導生産者に、「教育ファーム財産」を残そう
	6-3-a	子どもが育つ・生きものが育つ田園・里山空間として
	6-3-b	農の生活空間を守り引き継ぐさまざまな取組み
6-4-a	発表会、食フェスタ、感謝祭でアピールを	
6-4-b	いきいきフェスタや感謝祭 もう立派な地域・社会の一員だ	

# 「教育ファーム」ステップアップガイド 内容と使い方案内

## 1 利用対象とねらい

### (1)活用していただく方たち

この「ステップアップガイド」は、2008（平成20）年度制作の『「教育ファーム」実践ファイル』と同じく、教育ファームで子どもたちの指導に当たる農林漁家などと学校の先生、自治体担当者が、子どもたちに豊かな農林漁業体験・食体験をプレゼントするためのアイデア・ヒント集です。

### (2)ステップアップのねらい

ステップアップとは、農や食の高度な知識・技術を習得するという意味ではありません。指導者の願いと子どもたちの感性や学ぶ意欲とが通じあって、農・食・地域の魅力が伝わるように、豊かな交流がさらにすすむことです。

## 2 ステップアップの6つポイント

全国のモデル実証地区の取組みから、教育ファームの素晴らしいところは、「子どもが変わる—家庭が変わる—学校が変わる—地域が変わる」という、教え合い・学び合いが一体となって進んでいくことがわかります。そのためのステップアップのポイントを、本ガイドでは、6つの章、40枚のカードに整理しました（目次参照）。

### ①章 2年目はここをプラスワン <計画充実のためのポイント>

子どもたちにも親にも深く心に残る体験をさせるための、さまざまな改善の工夫を紹介。作目や体験内容、参加者層と指導スタッフ、活動期間、交流時間など、計画立案のさいにぜひ考慮したいポイントです。

### ②章 スタートから魅力を <参加者を惹きつけるポイント>

田んぼや畑とその周辺などの活動場所には、生きものを育て収穫する以外にも、子どもたちを惹きつけるいろいろなドラマがあります。そのような隠れた魅力と、わくわくするような活動目標をアピールして、参加の意欲を引

き出しましょう。

### ③章 モチベーションが持続する <飽きさせず期待を膨ませるポイント>

春の播種・植付けと秋の収穫の間は、関心が途切れがちになります。中だるみのV字型でなく、モチベーションが右上がりになっていくにはどうするか？ 作業に加えて、季節の食・生きもの・遊び・創作・行事参加などのアイデア満載。

### ④章 子どもが変わる、教室に活気 <学校の学習成果を高めるポイント>

「総合的な学習」はもちろん、国語・社会・理科・家庭・音楽・図工などの教科の「確かな学び」に、教育ファームの偉力を発揮させましょう。学校と生産者の連携によるプログラムづくり、指導計画、実践事例を紹介。

### ⑤章 地域が元気に <指導者の願いを子どもたちと実現するポイント>

地域に暮らす人びとの生きがいづくり、産業起こし、自然と文化の継承など、活気あるふるさとづくりの道は、子どもたちの参加とその反応のなかでよりよく見えてきます。「地域起こしの現場が子育て・教育にとって最高の現場となる」ような教育ファームの取組みです。

### ⑥章 教育ファームの成果を引き継ぐ <食育の輪を広げるためのポイント>

教育ファームで生まれる膨大な記録や作品は、地域の農林漁業・食・人の魅力の再発見であり、子どもたちの成長の証です。食育の輪を大きく広げる財産にしましょう。



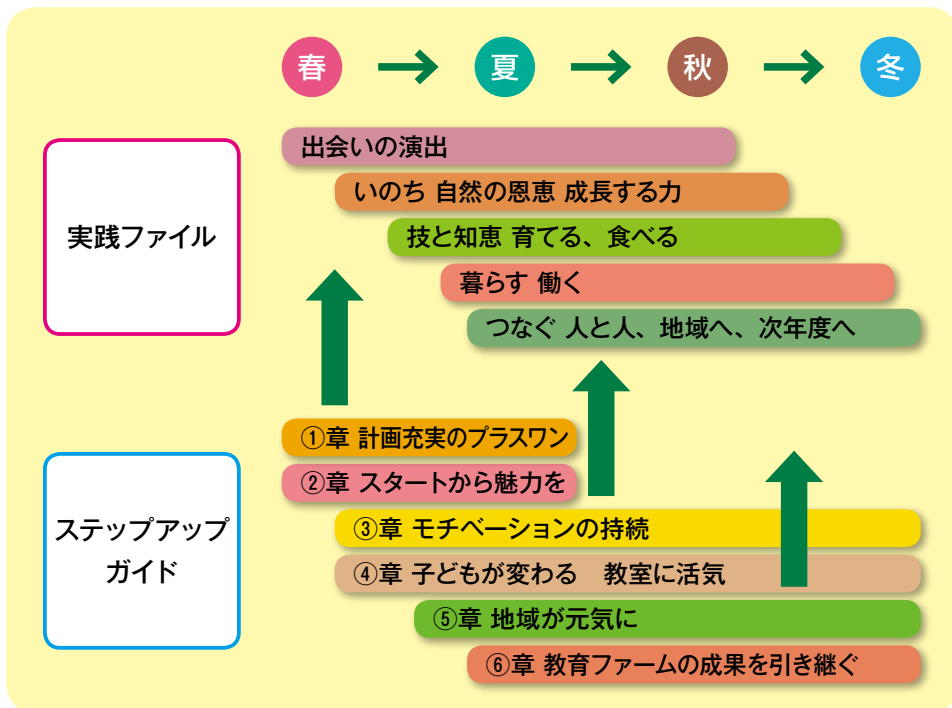
# 「教育ファーム」ステップアップガイド 内容と使い方案内

## 3 カードの活用～選択と組み合わせ

### (1)「実践ファイル」との併用

『「教育ファーム」実践ファイル』は下図のように、春→夏→秋→冬の活動の流れに沿って、子どもたちに身につけてほしい5つの目標(キーワード)の章を設けています。各章にイネ・畑作物・林業・漁業の品目別テーマと共通テーマのカードを設け、体験する品目にあわせてカードを選んで、組み合わせで活用できるようにしています。

『「教育ファーム」ステップアップガイド』は、「実践ファイル」の季節的展開に対して、6つのステップアップの観点から、活動計画の充実、活動内容の深化、さらには教育ファームの普及に役立てていただくものです。



### (2)計画の充実、実り多い連携づくりのために

取組みスタート時点での、計画立案・組織づくり・指導のコンセプト形成・参加者募集などに当たっては、「ステップアップガイド」の1・2・4・5章の中から地域条件・品目にあったカードを選び、関係者で検討、活用してください。

特に、学校と地域・生産者が連携して取り組む場合には、生産者サイドのスケジュールや指導目標と学校サイドのスケジュールや教育目標を相互に理解しあい、すりあわせを行なうことが、大きな成果をあげるポイントです。カード4-1のような教育ファームカレンダーを共同で作成して取り組まれることをおすすめします。

### (3)体験の深化のために

実施段階で、体験をより活気あるものに深化させるためには、3・4・5・6章の各カードの事例から、指導のアイデアと具体的な教具・指導グッズ、教材に有意義な地域資源、子どもたちの行動や成長・変容の姿、などを汲み取って、実践を組み立ててください。

### 大豆栽培から味噌づくりの体験をするときのカードの組み合わせ例

**実践ファイル**

9 何をやってみようか	13 大豆 こんな楽しみ、こんな学び
28 鍬1本でうねを仕上げる	34 畑に通えばいいことたくさん
36 どうする?害虫・害鳥獣	39 味噌蔵の豊かさを子どもたちに
53 子どもたちから地域への発信 など	

**ステップアップガイド**

- 1-1 心に深く残る! 品目や体験内容のプラス
- 2-4 目標を掲げ、意気込みを伝えて!
- 3-1 圃場・体験教材・作業 こう惹きつける、心に残す
- 3-3 作物の育ち、自然の力を見つめる、比較実験いろいろ
- 3-4 みんなで働く楽しみ、作業の意味を伝えよう
- 3-5 活動日には、作業体験と食体験をセットで
- 5-1 子どもたちとともに地域の「農一食」の魅力を再発見 など(4章 6章 全体参照)

\*カード番号は各カードの下欄外に、1-1-a,1-1-bというように、表頁をa、裏頁をbで示した。